

製品名: リン酸化 4E BP1 (Thr70) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00910**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:50-1:100
分子量	-

抗原情報

遺伝子名	EIF4EBP1
別名	EIF4EBP1; Eukaryotic translation initiation factor 4E-binding protein 1; 4E-BP1; eIF4E-binding protein 1; Phosphorylated heat- and acid-stable protein regulated by insulin 1; PHAS-I
遺伝子 ID	1978
SwissProt ID	Q13541
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

背景

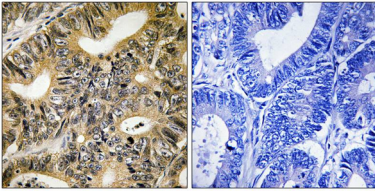
翻訳抑制タンパク質 4E-BP1 (別名 PHAS-1) は、翻訳開始因子 eIF4E に結合してキャップ依存性翻訳を阻害します。4E-BP1 の過剰

リン酸化はこの相互作用を阻害し、キャップ依存性翻訳を活性化します。PI3 キナーゼ/Akt 経路と FRAP/mTOR キナーゼの両方が 4E-BP1 の活性を制御します。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



パラフィン包埋ヒト結腸癌組織の Phospho-4E BP1 (Thr70) 抗体を使用した免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。右側はブロッキングペプチドを含むサンプルです。